

地方都市視察報告書

福祉健康委員会

1 実施日

平成29年10月25日（水）

2 視察地 山口県宇部市

【市の概要】

(1) 面積 286.65 km²

(2) 人口・世帯数（平成29年8月1日現在）

人口 167,259人

世帯数 79,152世帯

(3) 宇部市は、本州西端の山口県の南西部に位置し、市の南側は瀬戸内海に面している。気候は温暖で降雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海気候である。

今日の宇部市の発展の礎は、明治期以降の石炭産業の振興により築かれた。戦災からの市街地の復興を経て、戦後の日本のエネルギー需要構造の転換にいち早く対応した近代的な工業都市へと変貌し、現在も瀬戸内海有数の臨海工業地帯を形成している。

かつて、急激な工業化の進展に伴い生じた、大気汚染などの公害問題に対して、「産官学民」が一体となった「宇部方式」により取り組み、環境改善を図った実績は、産業発展と市民福祉の調和を目指す先進的事例として広く知られている。

市民一丸となった自治精神の高揚とまちづくりへの情熱は、都市緑化や公園整備など、幅広い分野に広がりを見せ、特に「彫刻によるまちづくり」について、「UBE ビエンナーレ」の開催や、市内各所への彫刻作品の配置など、宇部市固有のまちの風景を形成している。

3 視察項目・内容

(1) はつらつポイント制度について

(2) うべ健康マイレージについて

4 視察参加者

【委員】

豊 島 あつし委員長 吉住はるお副委員長 三 沢 ひで子委員

三 雲 崇 正委員 渡 辺 清 人委員 鈴 木 ひろみ委員

近 藤 なつ子委員 赤 羽 つや子委員 田中 のりひで委員



【随行】

議会事務局次長 下 杉 正 樹
議事係 佐 藤 公 彦

5 視察結果・所感

当区においても今後、実施の検討が進められる予定の「健康ポイント事業」について、既に先進的に実施している自治体の取組の成果や課題等を調査する目的で、宇部市を視察した。

宇部市の取組で最も印象に残ったのは、はつらつポイント制度の事業実施に際し、庁内はもちろん、地域とも親密な連携を図っている点である。例えば、新しい市道が開通するとその開通式でウォーキングイベントを実施し、参加者にはポイントを付与するなど、全庁を上げて本事業を推進している。また、地元の信用金庫では本事業の登録者を対象とした金融商品を開発している点からもその親密な連携を伺い知ることが出来た。また、健康ポイントが換金出来る仕組みは健康活動を行う団体の運営に役立っていることや、健康ポイントの管理は紙媒体を上手に活用していることなども大変参考になった。一方、県からの事業のうべ健康マイレージについては地域との連携がまだ進んでおらず、また市のはつらつポイント制度とも連携していないため、浸透し切れていない点も考えさせられた。

来年度からは本区でも健康ポイント事業を開始するにあたり、庁内や地域との連携の在り方について、とても参考となった視察だった。

6 主な質疑項目

- (1) 民間企業との連携について
- (2) 市役所内の各部門を横断した取組みの推進について
- (3) 医療費抑制効果の検証方法について
- (4) 最も医療費抑制効果を期待できる特定保健指導を受けている市民へのアプローチ方法について
- (5) はつらつポイント制度と健康マイレージの関連性について
- (6) 事業実施の効果測定について

7 その他

【共同視察者】健康部副参事（健康長寿担当） 松 浦 美 紀